



Monitor Arm Elite

ガススプリング式
4軸 液晶モニターアーム
クランプ/グロメット方式両対応

本紙に記載された内容は製品やOSのバージョンによって変更される場合がございます。
記載事項は正確を期すべく細心のチェックを行っていますが、内容の正確性については保証致しかねます。
当社は予告なしに内容を変更する権利を有します。
また、本紙内には付属しない製品の画像や用語が記載される可能性があります。
付属品については本紙やパッケージの付属品欄に記載がある物のみとなります。
他社登録商標・商標をはじめ、本紙に記載されている会社名、システム名、製品名は一般的に各社の登録商標または商標です。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐため必ずお守りいただくことを記載しております。

危険

死亡または重傷を負う恐れが大きい内容です。

警告

死亡または重傷を負う恐れがある内容です。

注意

軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある内容です。



気をつけていただきたい「注意喚起」の内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

免責事項

お客様または第三者がこの製品の誤使用や使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた直接的、間接的損害について、法令上の賠償責任が認められる場合を除き当社は一切その責任を負いませんので予めご了承ください。

製品仕様

シリーズ名	Monitor Arm Elite
対応規格	VESA 75 x 75mm / 100 x 100mm
対応モニターサイズ	最大32インチまで
耐荷重	9kgまで
取付方式	クランプ方式 / グロメット方式
取付可能天板	クランプ：20 ～ 80mm グロメット：20 ～ 40mm
取付必須スペース	幅：105mm / 奥行：110mm
可動範囲	回転　：180° (+90° / -90°) パン　　：180° (+90° / -90°) チルト：180° (+90° / -90°)
本体サイズ	約630 x 120 x 800mm (W x D x H)
重量	約3.8kg
素材	スチール / アルミ / ABS
保証期間	1年間

サポート / 連絡先

販売元

株式会社アーキサイト
〒110-0006
東京都台東区秋葉原 5-9 明治安田生命秋葉原ビル
URL：http://www.archisite.co.jp
サポートダイヤル：03-6859-0284
受付時間 10:00～12:00・13:00～17:00
(弊社指定定休日・年末年始・土日・祝祭日を除く)

危険

- ・本製品を火の中、電子レンジ等に入れたり、加熱したりしないでください。事故や破損の原因となります。
- ・本製品の分解、改造を行わないでください。事故や破損の原因となります。
また、分解、改造の痕跡がある場合、保証期間内でも交換、修理対応をお断りさせて頂く事があります。
- ・本製品を直射日光の当たる場所や炎天下の車中、暖房器具の傍で使用、もしくは保管をしないでください。事故や破損の原因となります。

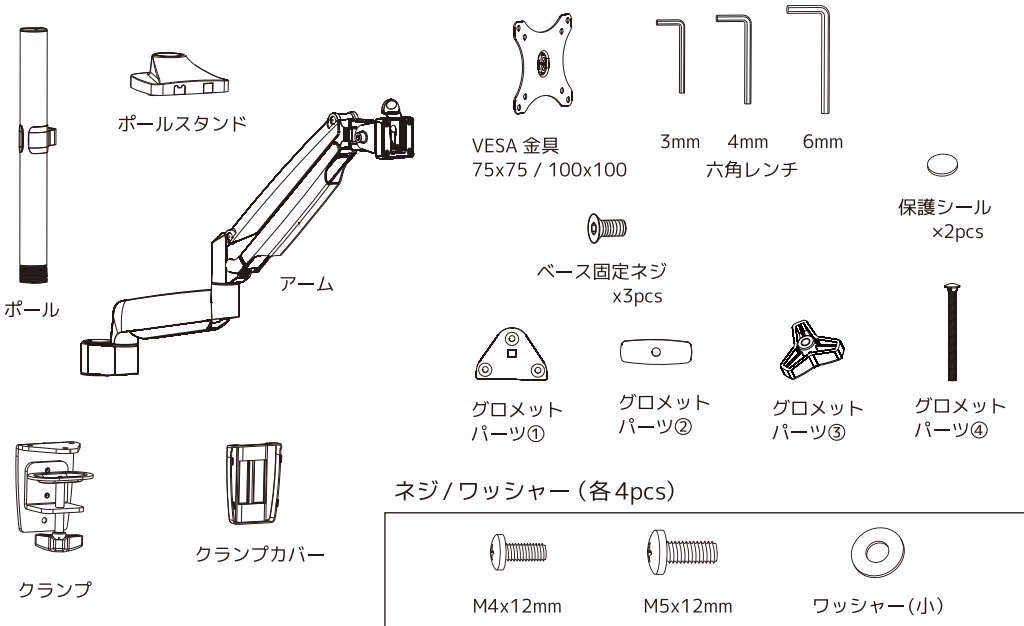
警告

- ・本製品に強い衝撃や圧力を与えないでください。与えてしまった場合は、一旦使用をやめて各部に破損がないかを確認してください。そのまま使用を続けると破損や事故の原因となります。
- ・水分や湿気の多い場所では本製品は使用しないでください。
- ・液体に本製品を入れたり、濡らしたりしないでください。
- ・濡れた手で本製品に触らないでください。
- ・小さなお子様の手の届く場所に本製品を設置・放置しないでください。
- ・本体にほこりが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください。
- ・本製品を取り付けや設置に関しては本マニュアルに記載されている通りに行ってください。
また、取り付け後は、そのままデスクを動かさないでください。
- ・本製品を振動のある場所で使用しないでください。

注意

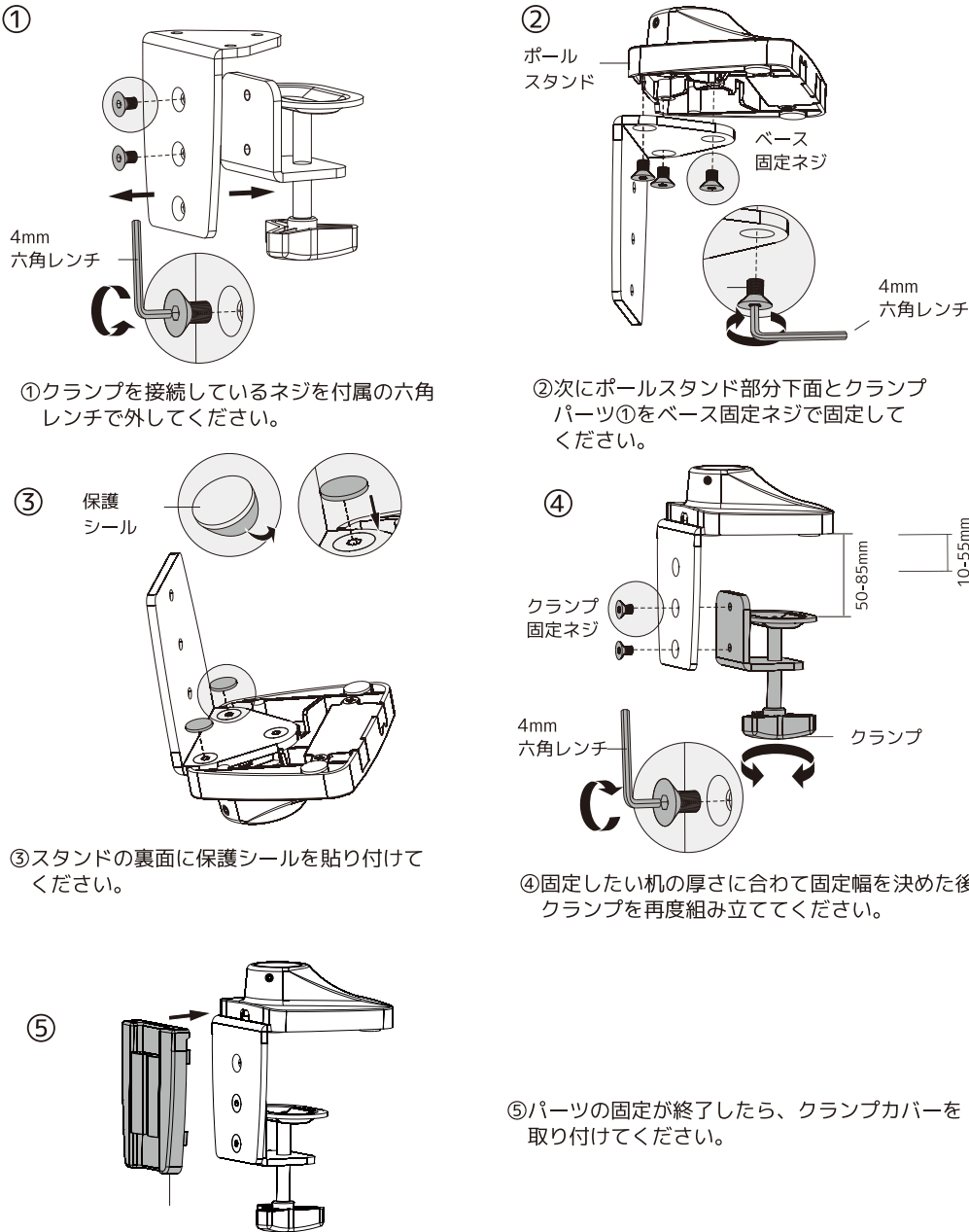
- ・本製品の耐荷重は8kgです。8kgを超える機器を取り付けしないでください。
- ・本製品の対応インチは目安です。耐荷重を確認し、8kg以下の機器を取り付けてください。
- ・以下のような場所で使用、設置をしないでください。破損や故障の原因となります。
 1. 強い磁界が発生するところ
 2. 火気の周辺や熱のこもるところ
 3. 水や水場の近辺
- ・有機溶剤で本製品を拭かないでください。
- ・ネジや各種部品は接続の方向を確認した上で差し込んでください。
- ・ネジ、ストッパーは付属の部品を使い、しっかりと固定してください。
- ・ネジやストッパーは時間経過とともに緩みがおきます。定期的に固定がされているかを確認してください。
- ・取り付けのモニタの重量バランスによってはモニタを縦で使用する時に、重量が重い方に傾く可能性があります。

1 付属品一覧

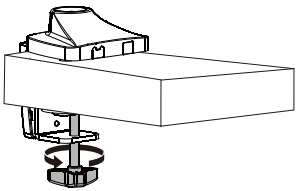


2a ポールの組み立て / デスクへの固定方法 (クランプ方式)

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て、固定を進めてください。



⑥



※クランプをデスクに固定するには下記のスペースが必要です。取り付けの前にご確認ください。

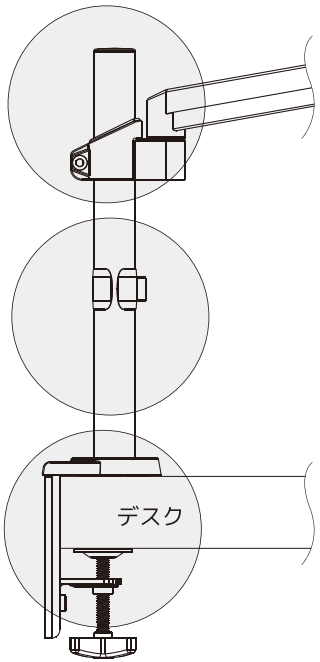
対応の厚さ / 幅 / 奥行
厚さ：20～80mm
幅：105mm
奥行：110mm

⑥下記の 2a-2「取り付けに関する注意」を必ずご確認ください。固定した後は、ポールを掴んで固定に緩みがないか確認をしてください。（対応するデスクの厚さは 20～80mm です）

2a-2



取り付けに関する注意



アームの締め付けが十分か確認してください。また、アームの取り付け方向は左図のように常に設置するデスクの上にアームがあるように取り付けてください。デスク外にアームが飛び出すような設置は決して行わないでください。

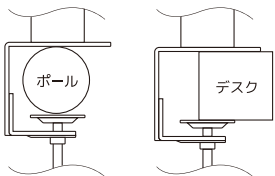


取り付けの際はポール部分が垂直になるよう取り付けてください。ポールが傾いている等、垂直以外の角度での取り付けは非常に危険です。



デスクに取り付ける際は左図のようにしっかりとクランプの奥までデスクを差し込み、隙間がないことを確認してから取り付けてください。

取り付けできない例



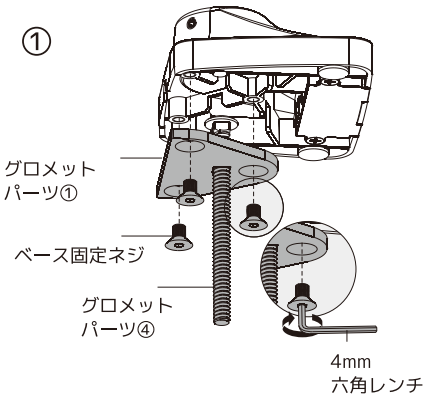
下記のようなデスクには決して取り付けないでください。

- ・取り付けるデスクがクランプに隙間なく収まらない
- ・デスクがクランプの一番奥まで差し込めない
- ・クランプ内面の上側、下側がデスクと全て接しない

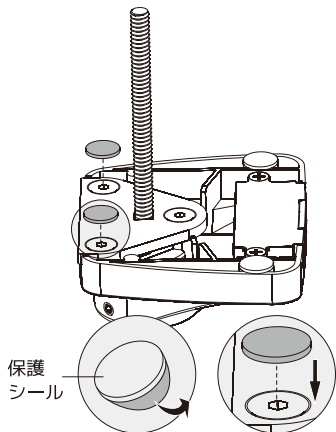
2b ポールの組み立て / デスクへの固定方法（グロメット方式）

下図をご確認の上、下記の手順で組み立て、固定を進めてください。

①



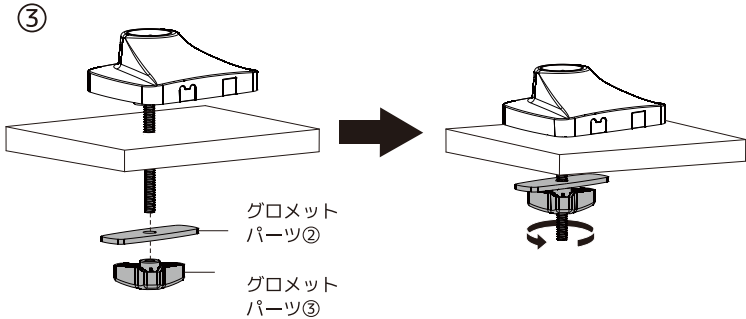
②



①グロメット方式で固定したい場合はポールスタンドを固定した後、クランプパーツではなく上図のようにグロメットパーツを固定してください。

②グロメットパーツを固定したら保護シール貼り付けてください。

③

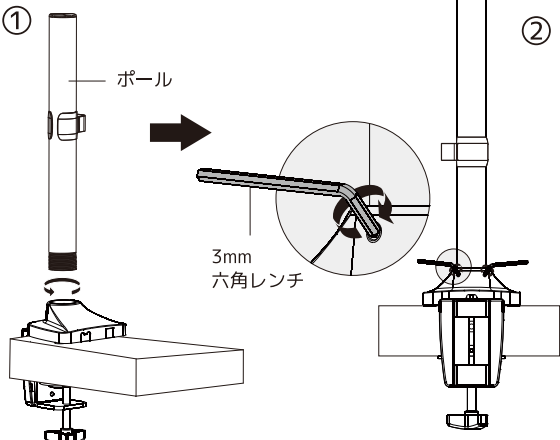


③机に取り付ける際は左図のようにグロメットパーツ②を挟んだ上でグロメットパーツ③で締め付けて固定してください。

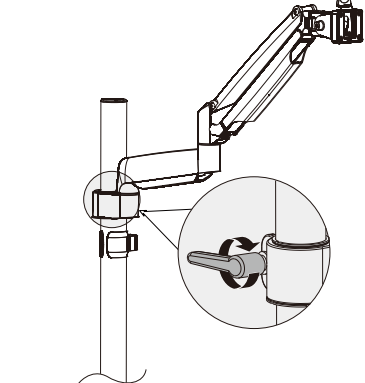
3

アームの取り付け方法

ポールをクランプまたはグロメット方式でデスクに固定した後は、下記の手順でポールを取り付けてください。



②



②アームをポールに挿し込み、固定したい場所まで移動させたら、アームの固定ネジを回してアームを固定してください。



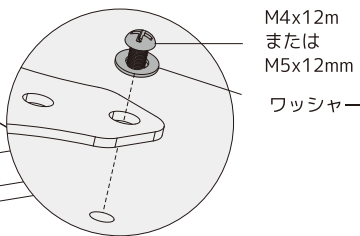
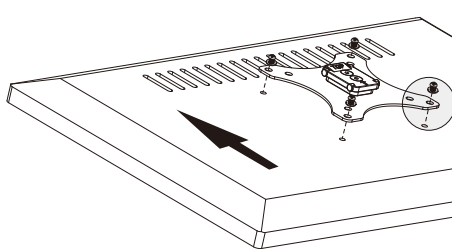
固定ネジは強い力でしっかりと締め付け、固定してください。また、定期的なネジの緩みがないか確認をし、緩んでいる場合はネジの締め直しを行ってください。

4

VESA金具取り付け方法



下図をご確認の上、VESA 金具をモニタに取り付けてください。



ネジで金具を止める際はネジを締めすぎないように付属のワッシャー（小）をご使用ください。

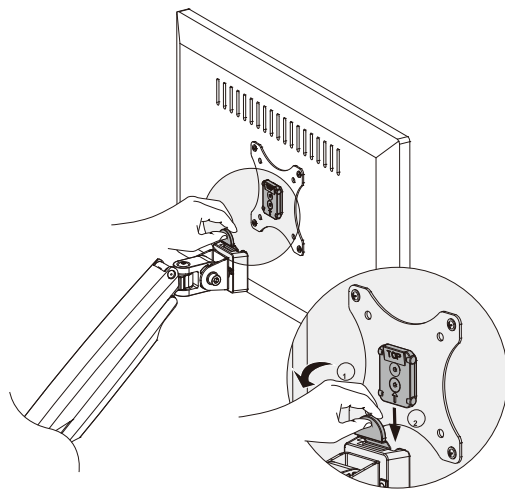


ワッシャーを使用しない、もしくは、使用してもネジを締めすぎた場合、モニタの VESA 穴を破損する恐れがあります。

5

モニタの取り付け方法

VESA 金具を固定したら、下図をご確認の上、アームにモニタを取り付けてください。



① VESA 金具のスライドとアームのスライドを合わせ、上からアームの先端にモニタを取り付けてください。
※2人で取り付けることをお勧めします。

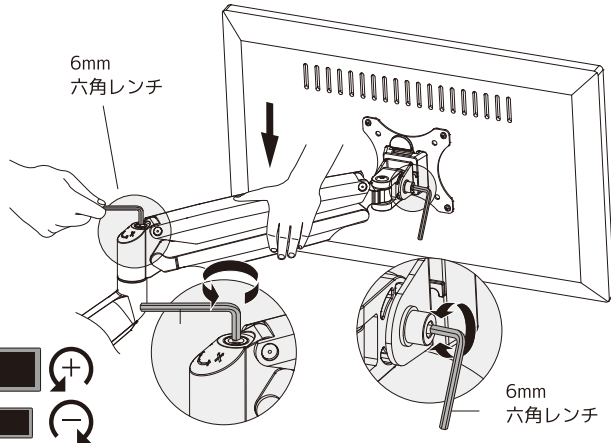


緩みがないようしっかりと固定してください。

6

アームの固さ調節方法

モニタを取り付けた後は、下図のようにアームの調節を行ってください。



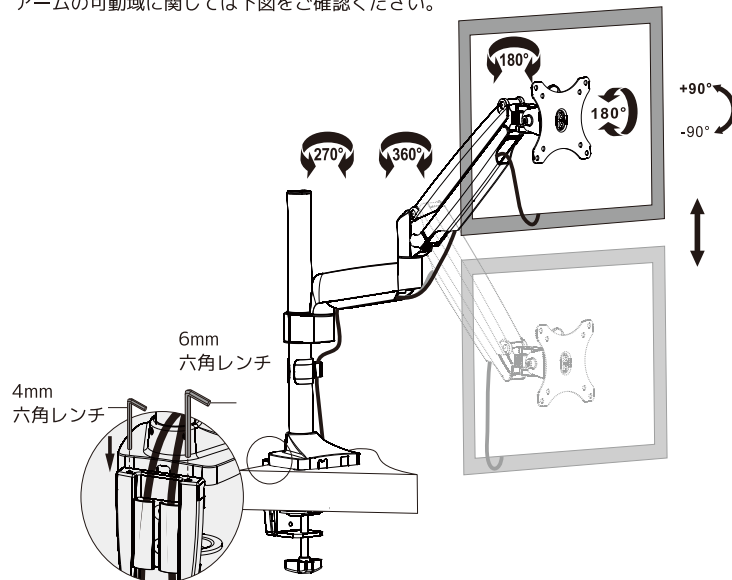
六角レンチを使用し、しっかりと締め、調節をしてください。締め付けが緩いとモニタが急に倒れる可能性があります。

しっかりと締め付けてください。

7

アームの可動域 / 各部説明

アームの可動域に関しては下図をご確認ください。

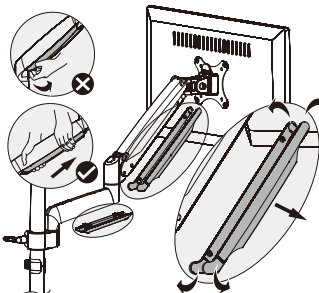


アームの可動域に関しては左図をご確認ください。

ネジの締め付けに対し、固さや緩みがあると感じた場合は付属の六角レンチを使用し、関節部分の調節を行ってください。

ケーブルガイドやレンチホルダーに関しても左図をご確認ください。

ケーブルの収納は、下図を参照の上、下記の手順でご使用ください。



①ケーブルガイド部分を左図の手順で取り外し、ケーブルを収納してください。

②取り外した時とは逆の手順でケーブルガイドを取り付けてください。取り付ける際は無理な力をかけず、ゆっくりと行ってください。
※無理な力がかかるとスライドが破損する可能性があります。